

しらぬか

2021. 4.23 NO.152

議会 だより

- 2 議員定数・議員報酬・政務活動費
- 4 令和2年第4回定例会概要
- 7 議会改革・活性化特別委員会 第2回中間報告
- 8 令和3年度予算審査
- 12 一般質問5名
- 18 委員会・協議会の動き



デガートまで作っちゃうよ

(男性の料理教室)

議員定数は1減 議員報酬は 政務活

増額 動費はなし

町民皆様からの意見を募集

議会改革・活性化特別委員会では、議員定数・議員報酬・政務活動費について協議を重ね、下記の案のとおり特別委員会としての方針（考え方）をまとめました。この案について、広く町民の皆様からご意見、ご提言を募集いたします。

◆意見募集の期間

- ・令和3年4月23日（金）から
令和3年6月30日（水）まで

◆意見書を提出できる方

- ・町内に住所がある方

◆意見書の提出方法

- 住所、氏名、年齢、連絡先を記載の上、
下記により提出してください。
- ・郵送 ・FAX ・電子メール ・持参

◆提出先

- ・白糠町議会事務局
- ・郵便番号：088-0392
- ・住所：白糠町西1条南1丁目1番地1
- ・F a x：2-4659
- ・E-mail：giji@town.shiranuka.lg.jp

◆問合先

- ・白糠町議会事務局
- ☎2-2171【内線301・303】

議員定数・議員報酬・政務活動費（案）

※適用時期は次期選挙後

- 1 議員定数は、現行の13人から1人削減して、12人とする。
- 2 議員報酬は、表1（月額）のとおり増額する。
- 3 政務活動費は、支給しない。

【表1】

	議 長	副 議 長	常任委員長	議 員
現行月額 (a)	295,000円	237,000円	212,000円	186,000円
月額改定案 (b)	313,000円	258,000円	247,000円	235,000円
月額差額 (b-a)	18,000円	21,000円	35,000円	49,000円

※月額報酬の他に6月と12月に期末手当が支給されます。期末手当の額は月額報酬に4.45を乗じた額となります。

※議員に退職金はありません。また、議員年金制度は平成23年に廃止されました。

2月22日開催の第15回議会改革・活性化特別委員会では、各委員の考え（『議会だより』151号掲載）をもとに「議員定数は現状維持か削減」、「議員報酬は増額」、「政務活動費は必要なし」という方向性で協議を進めました。

その結果、「定数は1名減の12名」、「議員報酬は4万9千円増の23万5千円」、「政務活動費は支給しない」という特別委員会としての方針を決め、3月定例会で福地委員長が報告しました。

定数の結果と主な意見

議員定数については、前2回の選挙が無投票であったことも踏まえ、1減の折衷案が委員長から示され、委員による採決の結果、「議員定数12名」を特別委員会の決定事項とした。

採決結果
賛成6名 反対5名

●現状維持の主な意見
・若い方や女性が選挙に出やすい環境を作るため、定数はそのままがいい。

●定数削減の主な意見
・若い人たちも選挙に出やすくするために、間口を狭めるべきではないという理論は、町民の理解を得難い。

●調査や議論のため、相応な定数は必要だが、過去2期とも途中から12名になっても支障はなかった。

●その他
・現状のままでもいいという方や、もっと目を配るために増やしてもいいという町民の意見もある。

報酬の結果と主な意見

全国町村議会議長会は、調査の結果から、議員報酬は首長の給料月額の30%ないし31%相当額という目安を示しているが、別に設置された研究会によるとそれでも不十分という意見である。白糠町の議員は23・75%と少ない。

今回は、全国町村議会議長のモデルをもとに首長給料月額の30%とし、4万9千円増額の23万5千円。議長、副議長、常任委員長等についても同様に、首長給料月額の40%、33%、31・5%とした。

増額の主な意見

●議員の報酬は35万円ぐらいでなければなり手がいないという町民の意見もある。

●今の報酬のままだと、新たに議員なる人はいないのでないか。報酬は上げてほしい。

●政務活動費を含めた金額として増額すべき。

●その他
・町民は議員報酬を現状維持もしくは、下げることを望んでいる。

・定数が現状維持の場合、報酬を増額することにはならない。

政務活動費の結果と主な意見

各委員の考え方を踏まえ、現状も政務活動費は支給されていないことから、政務活動費は必要ないと決めた。

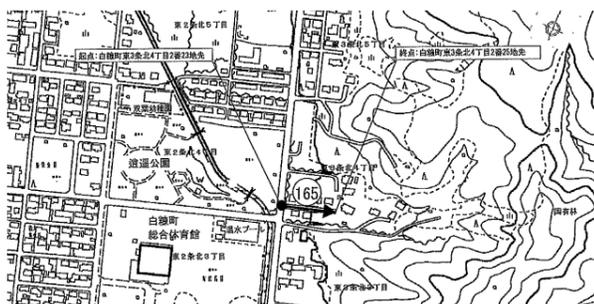
町道路線の認定

白糠地区1路線と庶路地区の1路線の2路線は、供用中の私道で、寄附の申し出があったもの。

国道38号恋問地区における避難路の整備に関し、北海道、JR北海道などの関係機関と協議が整ったことから、道路の新設整備にあたり認定するもの。

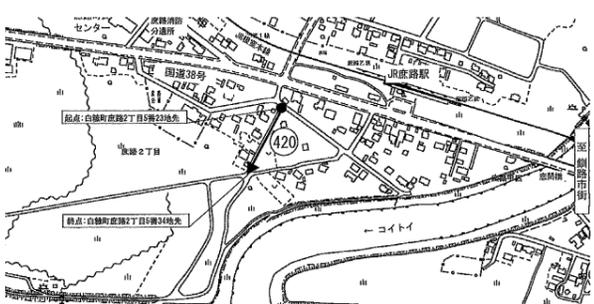
①路線名は「北4丁東3号通り」

- ・起 点 東3条北4丁目2番23地先
- ・終 点 東3条北4丁目2番25地先
- ・道路延長 83.4 m
- ・敷地幅員 7.00 mから7.00 m



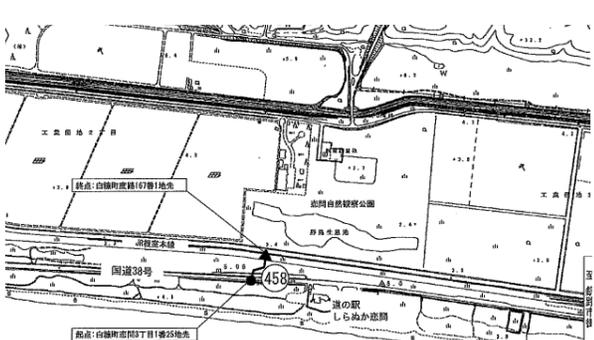
②路線名は「庶路2号通り」

- ・起 点 庶路2丁目5番23地先
- ・終 点 庶路2丁目5番34地先
- ・道路延長 120.8 m
- ・敷地幅員 6.00 mから7.00 m



③路線名は「恋問3丁1号通り」

- ・起 点 恋問3丁目1番25地先
- ・終 点 庶路167番1地先
- ・道路延長 123.8 m
- ・敷地幅員 11.00 mから20.00 m



委員候補者の推薦

令和3年6月30日で任期満了となる人権擁護委員について、町が推薦する候補者を適任と認めました。

- ◎白糠町西庶路
- ・今田 睦子氏



特別委員会の設置

予算審査特別委員会

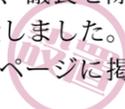
令和3年度一般会計及び各特別会計予算審査のため、議長を除く全議員により「令和3年度白糠町各会計予算審査特別委員会」を設置しました。

予算審査内容は、8ページから11ページに掲載しています。

道の駅「しらぬか恋問」移転改築及び白糠駅前広場整備事業調査特別委員会

道の駅「しらぬか恋問」移転改築及び白糠駅前広場整備事業に関する調査のため、議長を除く全議員により調査特別委員会を設置しました。

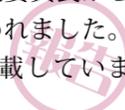
正副委員長の互選内容などは、19ページに掲載しています。



特別委員会中間報告

議会改革・活性化特別委員会の福地委員長から調査検討事項について中間報告が行われました。

中間報告の内容は、7ページに掲載しています。



2年度補正予算

一般会計補正予算

補正合計 38億5,618万円
総額 201億1,788万6千円

●増額

まちづくり基金等	1,126,571,000円
町道除雪業務	40,000,000円
振内線改良舗装工事	260,000,000円
ふるさと納税関連	2,394,872,000円
新型コロナウイルス感染症対策費	17,004,000円
肉用牛管理業務	2,418,000円
白糠第2地区道営草地整備事業負担金	8,000,000円
職員給与費等	2,858,000円
繰出金	7,077,000円
その他	156,000円

●減額

町債利子	△2,776,000円
------	-------------



質疑・答弁

問 新型コロナウイルスのワクチン接種は、町内3公共施設での実施予定だが、接種会場に行けない人、バスにも乗れない人の対応は。

答 会場に来られない方に対しては、町のコミュニティバスやオンデマンドバスを臨時的に運行する予定。自宅で寝たきりの方については、医師に往診の打診をしたところ、今回のワクチンが1バイアル5人分という想定なので、個別に往診し接種するのは難しいと言われている。対応については今後検討していきたい。

問 振内線の工事の内訳は。

答 改良工事830mで約2億300万円、舗装工事が560mで5600万円。改良工事は全線完了の予定。舗装工事は残り1,450mで、令和3年度の当初予算事業費で完成を見込んでいるが、国からの交付率が低ければ舗装の完成が伸びる可能性がある。

第1回 定例会

3月3日

- ・行政報告・町政執行方針
- ・教育行政執行方針
- ・特別委員会中間報告・一般質問
- ・専決処分の承認・補正予算

3月4日

- ・条例改正等・指定事項の変更
- ・新年度予算審査の特別委員会付託
- ・町道路線の認定・委員の推薦

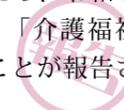
3月10日

- ・特別委員会の設置
- ・令和3年度補正予算

行政報告

保健福祉部の機構改革

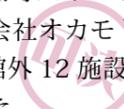
保健福祉部は、各種支援事業の円滑な運用と課内の連携強化を図るため、「福祉課」、「介護健康課」双方にまたがる子育てと高齢者の部門を分け、町民にわかりやすい機構とするため、令和3年4月1日から「町民サービス課」、「介護福祉課」、「健康こども課」の3課にすることが報告された。



指定事項の変更

●白糠町公の施設に係る指定管理者の指定事項の一部変更

「白糠町町民広場」の名称を「白糠町スポーツ広場」に変更することに伴い、株式会社オカモトを指定管理者としている「総合体育館外12施設」の指定事項の一部変更を決定しました。



条例等

制定

●白糠町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

公職選挙法の一部改正に伴い、白糠町の議会の議員及び長の選挙に係る選挙公営制度に関する条例を制定。

●白糠町農業振興基金条例の制定

農業関係団体あるいは農業者自らが取り組む事業などに対する支援の実効性確保と、時機を逃すことなく臨機応変に対応できるよう、農業分野に特化した基金を新たに設置するため条例を制定。

問農業分野に特化したとのことだが、現時点でどういうことを想定しているか。

答畜産クラスター事業への支援のほか、農業者、農業経済団体と意見交換をして、今、町内の農業に何が必要なかを自ら考えていただき、その取り組みに対して支援を行う。

一部改正

●白糠町漁業振興基金条例

積み立てする額と期間を限定していたが、予算の範囲内で積み立てができるよう改正。

●白糠町立学校設置条例

白糠小中学校外統合事業に伴い、白糠中学校を白糠高校へ一時移転するための位置の変更。また、白糠小学校と白糠中学校を統合し、義務教育学校とするための改正。

●白糠町学校給食センターの設置及び運営に関する条例

白糠高校の魅力化の一環として、本年4月より同校への給食実施に伴う改正。

●白糠町スポーツ施設の設置及び管理に関する条例

本年4月1日から「白糠町市民広場」の名称を「白糠町スポーツ広場」に変更する改正。

問スポーツ広場となっているが、多目的広場という考えていいか。
答市民広場の機能と何ら変わることはない。スポーツ広場としているが、これまでと同様に町内のイベント等も受け入れる多目的広場となっている。

●白糠町寿の家設置及び管理に関する条例

西庶路寿の家の改築に伴い、施設利用料及び冬期加算額を変更する改正。

●白糠町介護保険条例

第8期白糠町介護保険事業計画の策定に伴い、令和3年度から令和5年度までの介護保険料率の改定、介護保険法の一部改正及び税制改正並びに新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部改正に伴う改正。

●白糠町道路占用条例

北海道道路占用徴収条例の占用料金が改正されたことに伴う改正。

●白糠町都市公園条例

白糠町道路占用条例の道路占用料金が改正されたことに伴う改正。

●重度心身障がい者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例

医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正。

●白糠町国民健康保険条例

新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行による、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけの変更に伴う改正。

●白糠町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

●白糠町指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準に定める条例

●白糠町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例

●白糠町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例

介護保険法の改正により、厚生労働省令で定められている地域密着型サービス、介護予防支援事業及び居宅介護支援事業の人員、設備及び運営に関する基準等の規定内容が改正されたことに伴う改正。



報告

議会改革・活性化特別委員会第2回中間報告

(令和2年3月から令和3年2月)

○委員会等開催状況

①議会改革・活性化特別委員会	6回
②小委員会	3回
③分科会	6回
・総務・文教分科会	3回
・産業・厚生分科会	2回
・議会運営分科会	2回
・広報・広聴分科会	6回

○活動結果

①「町民と議会の懇談会」の開催

今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため密を避ける方策として、参加人員を制限する観点から、対象を経済団体の青年部、女性部の会員とし、各団体の日頃の活動や今後の展開、町の現状など、意見交換を行った。

前期の「議員定数等調査特別委員会」の最終報告を尊重し、総務・文教、産業・厚生に2つの分科会での議論を通じて、議員それぞれの意見（考え方）をまとめ、『議会だより』で公表するとともに、全体協議を重ね、本特別委員会の決定事項をまとめた。

②議員定数・議員報酬・政務活動費の協議

本特別委員会は、今後も各分科会からの報告、提案をもとに調査・検討を行い、議会改革・活性化の実現を図りながら、適宜、執行機関に対して提言する。

○令和3年度の活動について

令和3年度の調査・検討内容は次のとおりである。

- ・議会会議録のホームページ公開
- ・議会通年会期制の検討
- ・「町民と議会の懇談会」の開催
- ・「議員出前懇談会」啓発と実施
- ・常任委員会の活性化
- ・広報調査特別委員会の常任委員会化の検討
- ・議員定数、議員報酬、政務活動費の協議
- ・委員会第3回中間報告

開催団体・グループ募集中!!

議会の出前懇談会

議会では、団体やグループの希望に応じ、いつでも、どこでも開催する「議会の出前懇談会」を行っています。

担当分科会別による主なテーマ

- ①総務・文教分科会
防災・教育・財政及び税等に関すること
 - ②産業・厚生分科会
産業、民生福祉・土木・介護保険等に関すること
 - ③議会運営分科会
議会運営に関すること
 - ④広報・広聴分科会
議会だより・議会ホームページ等に関すること
- 上記のほかにご希望がある場合は申し込み時にご相談ください。

開催方法・要件

対象／町内在住の方5人以上の出席見込みがある任意の団体やグループ
(例) 町内会、婦人部、老人クラブ、子育てサークルなど。

懇談時間／約1時間30分程度

会場／申込者が指定する会場。
(公共施設利用の場合は、議会事務局が申し込みます。)

申込方法／開催を希望する日の2週間前までに「議会の出前懇談会申込書」により議会事務局へ申し込んでください。
※(議会会期中はご遠慮願います。)

【申し込み・問い合わせ先】
白糠町議会事務局 電話：01547(2)2171(内線303)
FAX：01547(2)4659
mail：giji@town.shiranuka.lg.jp
申込書は、白糠町ホームページから入手できます。

予算 審査

令和3年度の各会計予算審査は、予算審査特別委員会を設置して委員長に鎌田民子議員、副委員長に立石 巧議員を互選し、3月8日、9日の2日間の日程で行いました。

各課から新規事業等の説明を受け、質疑応答により慎重に審査しました。各課の主な質疑をお知らせします。(予算の内容は3月25日発行の町広報をご覧ください。)

各会計予算額

(単位：千円、%)

会 計	令和3年度	令和2年度	増減	増減率	
一 般 会 計	17,253,000	14,540,000	2,713,000	18.7	
特 別 会 計	国民健康保険	1,012,416	1,035,245	▲ 22,829	▲ 2.2
	簡易水道及び 飲用水道供給事業	90,690	63,281	27,409	43.3
	公共下水道事業	827,595	881,149	▲ 53,554	▲ 6.1
	介護保険	984,741	1,002,212	▲ 17,471	▲ 1.7
	後期高齢者医療	139,290	138,502	788	0.1
計	3,054,732	3,120,389	▲ 65,657	▲ 2.1	
合 計	20,307,732	17,660,389	2,647,343	15.0	

企画財政課

問 アイヌ民族を題材とした映画を作るが、町民とどのような連携を図ってこの映画を完成させようとしているのか。
答 ロケーターリズム推進プロジェクト実行委員会を昨年11月に立ち上げた。今後、監督、キャストが決まり、ロケーションハンティングが行われ、町内での撮影が始まる。その中で、町民の皆様のエキストラでの参加も出てくると思う。また、宿泊、飲食の部分でも協力いただく。

問 アイヌ民族を題材にした映画は、いつ頃完成するか。
答 現在の見込みでは、作品の完成時期は令和4年の秋ごろと伺っている。

問 国道392号の跨道橋撤去費、2億4千万の積算は。
答 開発局、道路管理者と協議を進め本町が負担し支払うということ、開発局の2橋撤去の積算である。

問 フォトコンテストの審査方法は。
答 日本広告写真協会の北海道支部長が審査する。



やまびこ会館

問 旧河原小中学校の教員住宅解体後の利用計画はあるか。
答 今回の解体後、校長住宅と教員住宅2棟に2世帯の方が住んでいるので当面はこのままの形で使用する。
問 やまびこ会館の改修時期と改修期間中の使用をどのようにするのか。
答 壁、屋根、窓のさん等の修理を考えており、施設を休まず改修するよう検討する。

税 務 課

問 ふるさと納税の返戻品に対するクレームは何か一番多いか。
答 運搬中のパッケージの破損が一番多い。

総 務 課

問 旧消防庁舎等の解体跡地の活用予定は。
答 地盤高海抜が3m強しかないので、防災の面から地域防災課としての利活用は考えていない。

問 固定資産税の減額、令和3年度の9棟の内訳は。
答 新築住宅9棟が対象で、白糠市街6棟、西庶路市街2棟、庶路沢1棟の予定。

町民サービス課

問 マイナンバーカード、庶路支所は何件の対応か。
答 現在24件ほど申請があり、主に庶路、西庶路の住民。

問 樹木葬所と合葬墓の使用料は。
答 既存の墓地使用料との整合性を図ることが必要と考え、樹木葬所は、1区画20万円程度、合葬墓は、1体につき1万円から2万円の間と考えている。

問 樹木葬所の樹種あるいは植栽の関係は。
答 樹種は、潮風に強いハマナスを考えている。

福 祉 課

問 コンビニ交付が令和4年から始まるが、発行される書類は。
答 コンビニ交付可能な書類は、住民票、戸籍、戸籍の附票、税の証明となっている。

問 職員のマイナンバーカードの交付率は何パーセントか。
答 町職員の交付率は、令和2年9月30日現在では72・7%となっている。

問 今後、マイナンバーカードの交付率を上げる手法は考えているか。
答 出張申請と臨時窓口を確定申告に合わせて西庶路、庶路、白糠で3日間行い162名の申請があり一定の効果があった。新年度も考えていきたい。

問 現時点で3歳から5歳の人数と家庭での保育人数は。
答 令和3年2月1日現在で3歳児が32名、4歳児が32名、5歳児が39名、合計103名。うち未所属は3名。

問 令和3年度の灯油購入助成の対象見込み世帯数は。
答 900世帯を予定している。

地 域 防 災 課

問 千島海溝沿い地震による津波のハザードマップの普及の仕方。
答 北海道からの数値の公表後、ハザードマップを作成して全戸配布し、合わせて広報の中で浸水深に関わるポイントの部分など、想定されるも

問 防災コンテナの鍵の解除については。
答 災害時にエリアメールで鍵の番号が通知されるよう管理している。



解体予定の旧消防庁舎

庶 路 支 所

問 コロナの感染拡大により事務量が増減はあったか。
答 日常業務は、特に変化はないが、管理人に消毒作業を行ってもらっている。

問 集会所関係、コミセン、町民センター、庶路支所附属集会所の利用は減っているか。
答 集会所関係、コミセン、町民センター、庶路支所附属集会所の利用は減っている。

【問】幸せわくわく結婚サポート事業の結婚生活支援事業補助金、1組50万円の内訳と対象年齢は。

【答】結婚に伴う住宅取得費用、住宅賃借費用、引っ越し費用で30万円、家電製品等の購入費用で20万円、合わせて50万円を上限として支援する。家電製品等の20万円は白糠町内での購入が条件。

【問】対象世帯は、令和3年1月1日から令和4年3月31日の期間に婚姻届を提出し受理された方で、夫婦共に39歳以下の世帯。



介護健康課

【問】包括支援センターの取り組み内容は。

【答】妊産婦や乳幼児の計測、育児相談、栄養相談などを行っている。また、産後ケアも実施しており、お母さん方にも好評なので周知に力を入れている。



相談室

【問】脳ドックは、新規に受ける人数が少なかつた場合は2年前に実施した人も予算内であれば受診できるのか。

【答】今年で3年目になる脳ドックは、1年目に受けた方は2

年目は受けられない制度だが、受診できるような体制をとりたい。

【問】コロナ禍で、予防接種とがん検診の利用率が下がっていると報道されているが、本町の状況はどうか。

【答】全体的に受診者は減っている。特定健診の受診率は例年と比べ10%近く減っている。

経済課

【問】農業関係施設の維持管理の中で、昨年よりも予算がアップしているのは。

【答】和天別パイオニアセンターの畳とストーブなどの更新を予定。

【問】エゾシカ有害捕獲は、今はどのような確認方法か。

【答】確認は、日付ごと、報告書で日付、頭数、鹿のしっぽと写真で確認をして、確認後に第三者の方に改めて確認をして頂いている。

【問】林道、路網の整備で今年予定しているオニヨップ線のあるとは、どこを予定しているか。

【答】環境税の予算の範囲内で5年程度かかる見込みで、次回はタンネナイを予定。

【問】白糠漁港整備事業は、昨年度実施設計を行い、今年度荷捌き施設前岸壁の耐震化工事等実施する予定だが、どのような工事をするか。また荷揚げに差し支えないのか。

【答】工事の内容は、荷捌き施設前岸壁の耐震化等の予定で、岸壁を現在の位置から2mほど前へ出し、併せて耐震化を施す。工事の時期により岸壁が使用できなくなるので、場所を移して水揚げを行うことで検討を進めている。

【問】前浜の海洋調査、主にどの辺の海を調査するのか。

【答】タコ産卵床とカニの生育場所で4箇所、庶路川、茶路川の海との合流する部分の水深約20mから30mの漁場、藻場の合わせて6箇所を予定。

【問】全天候型天蓋施設、完成予定

【問】定は何年度になるのか。

【答】令和8年度に完成する予定と聞いている。

【問】庶路川サケ中間育成施設の維持管理は何を行うのか。

【答】シヤモふ化場は、非常用発電機バッテリーの取り替え、サケ中間育成施設は、入り口の扉の取り替え修繕。両施設の照明器具のLED化を行う。

【問】振興センターの改修は、どのような改修をするのか。

【答】1階と2階とも、天井・壁の張り替え及び塗り替え、LED照明への交換、トイレの洋式化、自動ドアの修繕。1階は、和室のフロアリング化、コミュニティホール内看板の昇降の自動化、暖房器具と放送設備の入れ替えを予定。



振興センター

【問】新産業創造等促進事業、令和2年度の実績と令和3年度の見込み。

【答】令和2年度の実績はない。令和3年度は、2件を見込んでいる。

【問】青年就業者海外等研修事業の予定。また、想定される委託先は。

【答】2年前と同じくそれぞれのメンバーが旅行会社を選ぶため、委託業者は未定。

建設課

【問】令和3年度の町道維持補修設計の場所は。

【答】生活道路として北8丁西1号通り、庶路宮下横通り、宮下支線1号通り、西庶路北1丁2号通り、西庶路錦6番通り、宮下支線5号通りの6路線を予定。

【問】自然公園の改修費1億6,800万円の内訳は。

【答】事業費の内訳は、馬主来自然公園で7,600万円、乳呑自然公園で9,200万円

を予定している。

【問】逍遙公園の池の改修は計画段階でどのようになっているのか。

【答】今年度は、池を一度埋め立て、水遊び場からオクネツプ川に通じる1mから1m50cmぐらいの小川を作って、水遊び場にする計画です。



逍遙公園の池

【問】ちよつと暮らし事業を継続しているか。また、これまでの実績は。

【答】対象住戸は、日の出団地3階建て住棟の3階部分4戸としている。これまでの実績は、29年度が2件、平成30年

度が10件、令和元年度が16件、令和2年度まだ途中だが6件の利用となっている。

水道課

【問】浄水場の改修工事内容は。

【答】外壁及び屋根が剥がれているので、外壁の改修、屋根の葺き替えを実施する。

管理課

【問】公営塾の1人が退任されるが補充は。

【答】補充は株式会社プリマペンギノに人材を募集していただき面接を行う予定。

【問】青少年海外研修事業の予定を含めて計画の内容は。

【答】渡航できる状況になった場合は、ニュージーランドの先住民と文化交流、学習交流を考えている。日程は7日間、対象者は中学生6名、高校生2名、引率4名の予定。

社会教育課

【問】初めての出張は例年行っていたが取りやめになったのか。

【答】今年度は、ふるさと未来塾の中で本町のホテルにお願いして、ベッドメイキング、ホテルマナーの講座を考えている。

【問】スポーツレクリエーションの指導普及とあるが、ニュースポーツの計画はあるのか。

【答】令和3年度の予算でボッチャの用具を2セット購入し、スポーツ推進員と連携して誰でも気軽にできるスポーツとして取り進める。

【問】スポーツ広場の改修、記念事業として予定している少年サッカー大会の規模は。

【答】釧路新聞社主催の釧路旗杯を市内と本町の2会場に分散し2日間開催する。最終日に準決勝、決勝を本町のスポーツ広場で行う。

【問】スポーツ広場改修事業で、陸上レーンを作るが、規模と

【問】スポーツ広場に作った理由、指導体制は。

【答】規模は、延長115m、幅1・25mの2レーンを設ける予定。

【問】設置理由は、白糠中学校と庶路学園には陸上部が無く、陸上スポーツ少年団に通っているため。指導の体制は、陸上スポーツ少年団で活用することを考えている。



整備中のスポーツ広場

学校給食センター

【問】老朽化による設備の整備計画の中身は。

【答】令和3年度の主な内容は主に野菜の調理に使用する照射冷却器の修繕を見込んでいく。

問い合わせ 提案する

一般質問

議員5名が12件16項目について質問しました。
※一般質問より1人90分以内で、町長・教育長にたいして広く町政に関する説明を求めます。

石田 正義 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・13ページ

- 1 日本製紙釧路工場撤退について
- 2 公園内の公衆トイレについて
- 3 乳呑、下庶路地区吊り橋について
- 4 基幹産業と小、中、高生の取り組みについて

鎌田 民子 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・14ページ

- 1 教職員の变形労働時間制について
- 2 「GIGAスクール構想」と子どもの発達、健康面の影響について

福地 裕行 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・15ページ

- 1 消防団員の待遇改善について
- 2 施設整備に係る市場調査等について
- 3 「白糠小学校」の活用について

中河 敏史 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・16ページ

- 1 第2期白糠町創生総合戦略について

中村 仁志 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・17ページ

- 1 元気しらぬか応援券について
- 2 空き家対策について



問 日本製紙釧路工場撤退について

答 管内町村会、釧路総合振興局と協議し、釧路市と連携を図り適宜取り組んでいく

問 令和3年8月で、紙、パルプ事業を終了すると発表された。今日迄、経済はもとより、森林、林業、林産業の振興は多大である。釧路市の衰退は管内全体の衰退であり、もう少し早くに振興局と対応を考えていくべきではなかったか。



石田 正義 議員

答 岬の森東山公園中腹にあり、不便をかけている。令和3年からアイヌ政策推進交付金事業を活用し、公園整備をする

問 ウレシパチセ近くのトイレは整備されたが、坂を上っての避難場所、コンテナ設置場所の上のトイレは、はしご段を上った所で、災害の際避難時の対応から検討すべき。春日公園のトイレも30年以上経過し改修すべきと考える。また、何ヶ所かは水洗化されているが、冬でも利用できるよう整備してはどうか。

答 令和3年度に策定する基本計画の中で検討していく

問 公園内公衆トイレの整備について

答 釧路市にとって大きな柱の一つであり、大きな問題であるが、管内町村が初期の段階で立ち入る事は難しいと判断してきた。今後、雇用問題や影響を受ける企業など、管内町村及び釧路総合振興局と十分協議し、釧路市と連携を図り、町村会として協力していく。

基本計画を策定する。この中で、トイレの位置、他の施設も検討していく。
春日公園トイレも令和3年度建替え、水洗化する予定である。冬期は、凍結防止剤など検討していく。



岬の森東山公園中腹のトイレ

問 乳呑、下庶路地区吊り橋修復計画の経過と内容を伺う

答 道は、危険な吊り橋は撤去するとの指導である

問 この吊り橋は、長い間町民に利用され思い入れもあり、経過と今後の考え方を伺う。
答 公道として吊り橋の改修はで

問 基幹産業と小、中、高生の取り組みについて

答 キャリア教育の推進を図るとともに、人材の確保の取り組みを支援する

問 基幹産業の活性化は、若者の理解と関心が不可欠であり、自然の大切さを伝えるべきと思う。

答 地域産業調べや職業調べの学習において、直接森林や林業、林産業に関わる方に経験や知識を伝えてもらう地域人材の活用や職場体験先に林業に関わる事業所等を斡旋するなど、ふるさと教育の充実を図る方策としてキャリア教育の推進を図っていく。

問 林業大学校入学生に財政支援することで卒業後本町の林産業に関わってもらうことが可能かと思う。

答 林業大学校は2年間の学費が、北海道の費用負担もあり140万円程度に抑えられている。また、北海道林業・木材産業人材育成支援協議会が設立され、学生達の実習等に掛かる経費支援を行っている。従って新たな支援制度は考えていない。
今後どのような人材が必要で、どのような取り組みが必要か業界として検討してもらい、森林環境譲与税や森林環境基金を活用し支援を行っていききたい。

問 林産業全てが人材不足である。
答 単に林業と言っても応募してくる方も難しいと思う。業界全体で、こんな分野で応募して来る人がいないだろうかと提案してもらいたい。





鎌田民子 議員

問 変形労働時間制、道教委への回答とその根拠は

答 令和4年度以降に導入を検討する

問 教職員の長時間労働を固定化する「1年単位の変形労働時間制」条例が道議会で可決された。昨年9月の北海道教育委員会からの意向調査への回答とその根拠について伺う。

答 制度導入にあたっては、校長会等を通して十分な検討を重ねていく必要がある。

令和3年度中に関係機関との協議を重ね、令和4年度以降に導入を検討したいと回答した。

教職員が疲弊することなくやりがいをもって教育を行うためには、業務負担を軽減・平準化し、長時間労働を解消することが第一。本制度の導入も含め、教職員の働き方改革の推進を図っていく。

問 「GIGAスクール構想」と子どもの発達、健康面の影響について

答 健康面への影響は、避けて通れない。健康面に配慮した指導をする

問 「GIGAスクール構想」とはどのような内容か。従来の教育内容とどのように変わっていくのか。利点と問題点について伺う。

答 これまでの教育実践を基盤にICTを効果的に組み合わせること、より一層の効率化と学習内容の定着を図るといったもの。従来の教育内容と変わるものではない。

利点は、一人ひとりに配付されたタブレットの活用により、双方向型の授業展開が可能。子どもたちの反応をふまえたきめ細かな指導ができる。課題は、教師も子どもも機器の扱いに不慣れであり、使用するのに時間がかかる。不具合が生じた場合に、その対処に苦慮するなど想定される。

問 デジタルでの学習内容の理解や定着は、紙に劣るとの指摘

摘もあるときく。デジタルの特性を生かしつつ、紙の教科書で学び、ノートに筆記することが基本と思うがどうか。

答 教科書やノートを否定するものではない。社会にでて文字を書く必然性はでてくる。子どもたちには、補助的な教材として使わせる。

問 パソコン・タブレット端末等による健康面への影響として、ドライアイ、視力の低下、姿勢の悪化等が報告されている。文部科学省の通達も、健康面への配慮事項を出さざるを得ない内容になっている。影響等の検証はどのように行うのか。

答 文部科学省通達を各校に改めて周知し、子どもたちの健康面に配慮した指導をする。検証については、学級担任等が中心となり、家庭、養護教

諭と連携して適切な対応に努める。
ICT機器の活用に伴う健康面に配慮した教師向けの研修を随時実施するよう働きかける。



問 消防団員の処遇改善を

答 答申内容を見て検討

問 崇高な使命感をもって町民の生命・財産を守るべく奮励されているが、年額報酬は低く、最早時代にそぐわない。

答 団員の確保は人口減少などにより非常に厳しく、全国の消防関係者などから改善を求められている。

今年の夏頃には国に答申が示されると聞いているので、その内容をよく検討し取り組む。

問 全国的にみても低いが、地方交付税算入額だけを勘案しているのか。

答 交付税措置は、一般団員3万6500円だが、わが町は2万9400円である。

問 町の条例・規則により団長が認める資格年齢延長者は。

答 一般団員23名。定員は、121名だが実在数100名。

問 施設整備計画は第三者機関による調査を

答 様々な角度から検討する

問 最早、取り返しつかない極端な人口減少もあり、町が縮んでいく中、ふるさと納税寄付金により潤沢に積み増す基金を活用する施設整備が計画されている。

先ず求められるのは、一次産業の強固な基盤整備であり、

答 転換期を迎えている中、原点に立返り、今の時代だからできることは何かを常に考え、施策を進める。
近い将来、町の大きな柱である再生可能エネルギーを最大の武器として一次産業にも融合させていくことで適正な人口規模も明確になる。

問 人口が全国的にみても特異な減り方をしているのは、魅力（収入）ある働き場所が少ないからである。

こと酪農に関しては、他所との差別化を図りつつ、労働環境にも目を向け、既存の就業者を守る手立てが先である。

答 厳しい状況だが、手をこまねいていたわけではない。
残るところの応援は前向きに徹底的に行う。

問 白糠小学校の利活用を

答 来年8月までに決める

問 白糠小学校と白糠中学校を統合し、新たな義務教育学校・町立白糠学園として、来年8月、開校予定で事業を進めることになるが、現在の「白小」をどう利活用するのか。
庶路小中の例に倣いだだけ体し、更地にするだけではあまりに知恵がなく勿体ないことだが、利活用の方策は。

答 白小の校舎は、昭和59年から60年にかけて、また、屋体

は昭和60年に改築し、建築後35年が経過している。
移転後は、解体ではなく、利活用を検討しているところである。文部科学省への必要な手続き等を行った上で、白糠学園の開校までに、議員皆様の意見なども伺いながら、方策について具現化していく。

問 中国系等の企業以外への売却も選択肢の一つか。

答 売却できれば、利活用も伴うのでありがたいが、時世もみて検討する。



白糠小学校



福地裕行 議員



中河 敏史 議員

問 第2期白糠町創生総合戦略における野菜・林業の施策は

答 人材育成も含め積極的に推し進める

問 野菜生産の振興において新たな野菜生産者の育成・支援が重点事項になっている。現在和天別地区において就農に向け整備を行っているが今後どのように実践していくのか。

答 本町はこれまで、冷涼な気候と日照時間の長さという優位性を生かし野菜生産の振興を図ってきた。しかし、大きな課題はどのように「人材」を確保し、「新規就農」に結びつけるかである。現在、研修をしている2名の地域おこし隊員には3年間で栽培技術等を段階的に身に付けてもらい、4年目に就農する研修計画をたてている。

問 現在、町内の農業法人や野菜生産農家の協力をいただき、本人たちが目指す栽培・経営形態の意向に沿った研修になるよう意見交換を行うとともに、土づくりから出荷に至る

答 本別町にある農業大学校における座学、リモートの研修等関係機関と進めている。販路については市場での研修を予定していたが、コロナ禍で2年度はできず、3年度で行い経営に活かしていきたい。

問 第2期白糠町総合戦略が改訂されたが、林業・林産業においては重点事業もなく継続

答 本別町では、着実に事業を進め、森林資源の平準化を図ることが重要である。「もう一度山づくりの原点にかえり循環型の林業・林産業の再興に努め、木を植える」を行動目標に森林づくりを進めるとともに、林業・林産業界が将来を見据え、自律的・内発的に取り組む事業に対し、支援を行う。

までの一連の実践並びに販路構築に向けた市場調査等を総合的に研修することで、4年目には新規就農をスムーズにおこなえるよう取り進めている。来年度も2名の任用が決まっている。

問 2名の研修者は今後どのような過程で営農指導のか。

答 一名の方は小規模な経営を

目指し昨年同様上庶路の農家で研修を行う。もう一名は和天別地区の農業法人で昨年同様

問 実践並びに販路構築に向けた市場調査とあるが。

答 本別町では、着実に事業を進め、森林資源の平準化を図ることが重要である。「もう一度山づくりの原点にかえり循環型の林業・林産業の再興に努め、木を植える」を行動目標に森林づくりを進めるとともに、林業・林産業界が将来を見据え、自律的・内発的に取り組む事業に対し、支援を行う。

事業だけでなく、林産業が衰退していく中、積極的な施策が必要である。

問 過剰な伐採は森林の荒廃を招き、林産業の衰退が進む中、戦後の再造林によるカラマツ、トドマツなどの人工林が利用

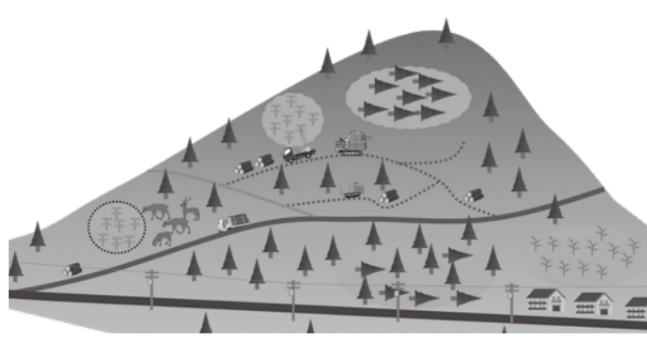
期を向かえている。これらを踏まえ、町として森林の持つ地球温暖化防止や災害防止、水源涵養、木材生産などの多面的な機能を持続的に発揮させ、森林資源の永続的な循環利用と齢級の標準化を図るため、昨年度創設された森林環境贈与税を活用し、路網整備による未整備森林の適切な更新を図るとともに、人材育成や環境教育に取り組んでいる。山をつくり育てることは長期間にわたって、着実に事業を進め、森林資源の平準化を図ることが重要である。「もう一度山づくりの原点にかえり循環型の林業・林産業の再興に努め、木を植える」を行動目標に森林づくりを進めるとともに、林業・林産業界が将来を見据え、自律的・内発的に取り組む事業に対し、支援を行う。

問 路網の整備とあるが内容は。

答 森林環境贈与税を活用し、オニヨップの町有林に路網を整備することにより森林を利活用したい。

問 町で管理している使用されていない牧野を活用できないか。

答 路網を整備しなければ町有林を活用できない。人材育成も含め関係機関と連携し進めていきたい。



中村 仁志 議員

問 応援券第3弾のフリー券の使用実績と実施効果について伺う

答 経済対策並びに生活支援として町民全体に広く活用いただいた

問 昨年5月より、応援券第1弾から第3弾まで、商工会と連携を図りながら支援していただいたことに心から感謝する。町民、また事業者は、経済的被害や精神的苦痛を受けたが、応援券によって活力を少しは取り戻すことが出来たのではないかと思っている。応援券第3弾のフリー券の使用実績と実施効果について伺う。

答 応援券の使用実績は、町民7,521名の方々に、1人5,000円、合計3760万5000円分の応援券を配布し、使用率は97.9%、金額にして3680万8000円の実績となっている。実施効果は新型コロナウイルス感染症により経済活動が縮小している状況の中、感染症対策に最大限留意していた

問 町では取り壊しの一部助成を検討するが、その後の検討状況を伺う

答 空き家の解体の一部助成についても検討していく

問 空き家対策特別措置法に基づき危険性のある老朽化の空き家の所有者に解体を促していると思うが一向に進んでいない。空き家として放置される期間が長くなればなるほど様々な問題が悪化し周辺

地域への影響は大きくなる。町では取り壊しの一部助成を検討するとあったが、その後の検討状況を伺う。

答 本町では、この特別措置法の制定を受け、平成28年度に「空き家実態調査」を実施し、町内における空き家の実態把握を行ったところ、不良度Dランク（主体構造部に著しい損傷があるか、複数箇所著しい損傷がみられ、大規模な

修繕や除却が必要）と判断された家屋が196棟という判定結果となった。

問 危険性ある老朽化の空き家の所有者が諸事情で解体できないのか、いつまでもそのままなのか、いずれ崩壊し散乱して危険性が生じるが町の管理責任は。

答 空き家対策は、個人の財産の問題なので、その空き家の所有者に適正な維持管理を



行ってもらうことが原則。特別措置法第3条において、「空家等の所有者又は管理者は、周辺の生活環境に悪影響を及ぼさないよう、空き家等の適切な管理に努めるものとする。」と定められているので、町が管理責任を負うものではない。今後において、これまでも同様で、まずは空き家の実態把握と所有者への適正な維持管理の啓発に努め、地域の生活環境に悪影響を及ぼさないよう、粘り強く対応していきたいと考えている。法的措置の可能性も含めて検討している最中なので、今しばらく時間をいただきたい。

総務文教常任委員会

2月15日

●縫別自然の家と青少年旅行村に関すること

●縫別自然の家と青少年旅行村について

担当課ら各施設内容と利用状況の説明をうけた。

・縫別自然の家

平成3年の開設以来、毎年5月から10月の6カ月間にわたり、町内外の方々に利用されている。令和2年度の利用状況は、件数が9件で利用人数は134名。令和元年と比較すると5件の減、利用者数では185名の減となっている。

【主な質疑】

問たくさん利用してもらうために、今後どのようなことを検討しているか。

答広報やホームページ等によりPRしてきたが、非常に低廉に宿泊できるということで、クチコミでの集客に取り組んでいる。

・青少年旅行村

平成29年度から3か年かけて、日帰り型観光施設として、誘客の促進と交流人口の拡大を目的に、計画的な整備を進めてきた。令和2年度の利用者は281名。令和元年度と比較すると13名の増加となっている。

【主な質疑】

問年間数件の問い合わせがあるということだが、キャンプ場を整備しても上茶路はクマが出る状態で大変リスクがある。キャンプ場は休止するなりはっきりした方がいいのではないか。

答設備が整ったキャンプ場を設置するとすれば、かなりのお金がかかり、鳥獣対策等も問題になる。設置条例を速やかに理事者と協議し、縫別自然の家、その他の野外活動施設を含め総合的に検討する。

道の駅「しらぬか恋問」移転改築及び白糠駅前広場整備事業調査特別委員会

3月4日

●正副委員長の互選について

3月4日の定例町議会において、道の駅「しらぬか恋問」移転改築及び白糠駅前広場整備事業調査特別委員会を設置。

本委員会は、「道の駅の移転改築」及び「白糠駅前広場整備事業」2つの主要事業について、議会においても調査が必要なため組成したもの。

【目的】道の駅「しらぬか恋問」移転改築及び白糠駅前広場整備事業に関する調査活動のため

【構成員】議長を除く全議員 12人

【設置期間】閉会中も継続調査活動ができるものとし、議会が調査終了を議決するときまでとする。

第1回目は、委員長及び副委員長の互選を行い、委員長に石田正義委員、副委員長に折出征清委員を選出。



石田委員長



折出副委員長

委員会・

協議会の活動

総務文教常任委員会

2月15日

●白糠小学校移転計画に関すること

●教育委員会から令和3年度に着工する白糠小学校と白糠中学校の統合事業の内容、工事スケジュール、白糠地区の新たな義務教育学校の開校に向けた取り組みについて説明をうけた。

【主な質疑】

問昨年秋、グラウンドを整備した際、大風が吹いて砂埃がひどかった。今後どのように整備しようとしているのか。

答グラウンドは、既存の校舎が一段高いので、今の高さから暗渠排水等の整備のために嵩上げる。土は、水はけの良い材料で軽いものは飛ぶので、以前実施した庶路中学校、庶路学園で使った同じような土を盛って対応するよう設計を進めている。

《工事発注スケジュール》

令和3年3月	関連予算案提案
令和3年4月	起工準備
令和3年5月	工事入札執行、仮契約
令和3年6月	工事請負契約の締結議案提案 本契約
令和3年6月 ~7月	工事着工

総務文教常任委員会

2月15日

●白糠高校魅力化に関すること

●教育委員会から白糠高校の魅力化の一環として、令和3年4月より実施する給食の無償提供について説明を受けた。

【主な質疑】

問給食は中学生と同じ量を予定しているが、足りるのか。

答先行している十勝の例を参考にした。道立高校で実施しているところは、中学生の量で提供している。足りないようであれば検討したい。

《提供内容》

- ・在籍する生徒のうち希望者とする。
- ・実施日数は原則白糠町立学校の授業日とし、年間で200日を予定している。
- ・給食の内容は米飯、麺類、パン及び副食とし、中学生と同じ量とする。ただし、牛乳は白糠高校からの要望により除くこととする。
- ・給食一食あたりの単価は225円を予定。



その他の委員会活動

●産業厚生常任委員会 2月16日、3月3日

●議会運営委員会 2月17日、24日

●議会改革・活性化委員会

1月28日、2月22日、3月22日

●道の駅「しらぬか恋問」移転改築及び白糠駅前広場整備事業調査特別委員会

3月26日

●広報広聴特別委員会 4月8日、15日



広報の目



▲株式会社M&S 哺育・育成舎の仔牛

寒さ厳しい冬を終えて、仔牛たちが、新牛舎に引っ越ししました。真新しい寝藁^{わら}の上で、伸び伸びと暮らしています。今年は丑年で「我慢（耐える）」や「発展の前触れ（芽が出る）」を表す年になると言われています。 撮影：中村 仁志 広報広聴調査特別委員会委員



あとがき

3月議会は1年間を審議する場でもあります。今回は、子どもの未来を願って、子どもに視点をあてた予算を考えてみました。

子育て支援の充実は、白糠町が数年前から「太陽の手」子育て支援」として取り組んでいる政策です。

- 保育料の無料化は全ての子どもを対象に、家庭の負担を少しでも軽減できれば。
- 給食費の無料化も全ての子どもを対象に、食材の用意から調理など、親はたいへん。
- 子ども医療費の無料化で、小さい子どもや活発な高校生がいても心配いらず。
- 出産祝い金は、出産1件に5万円のお祝い。
- 入学支援金で子育て世代の負担軽減。

「子育てするなら白糠」を実感できるよう全力で取り組んでまいります。 (立石)



今号の表紙



今号の表紙は、2月25日に開催された、男性の料理教室です。健康寿命をのぼすためにフレイル予防の講習を受けた後に、「あんかけ丼」、「春雨のスープ」、「ほうれん草の海苔和え」、デザートに「大学芋」の計4品の調理実習を行いました。余すことなく、おいしく頂きました。